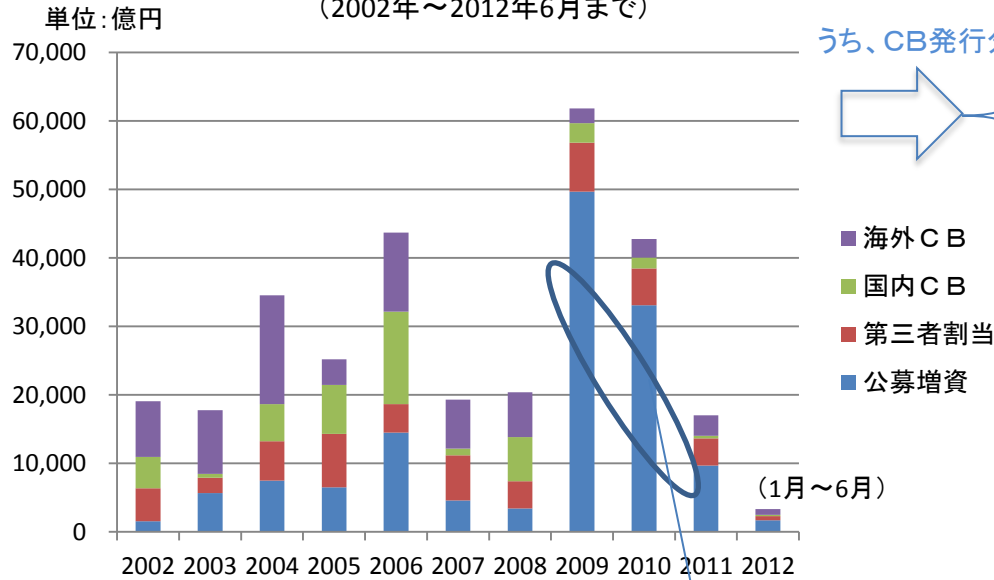


日本の発行市場の状況とCB

(2012年7月時点での過去10年間推移)

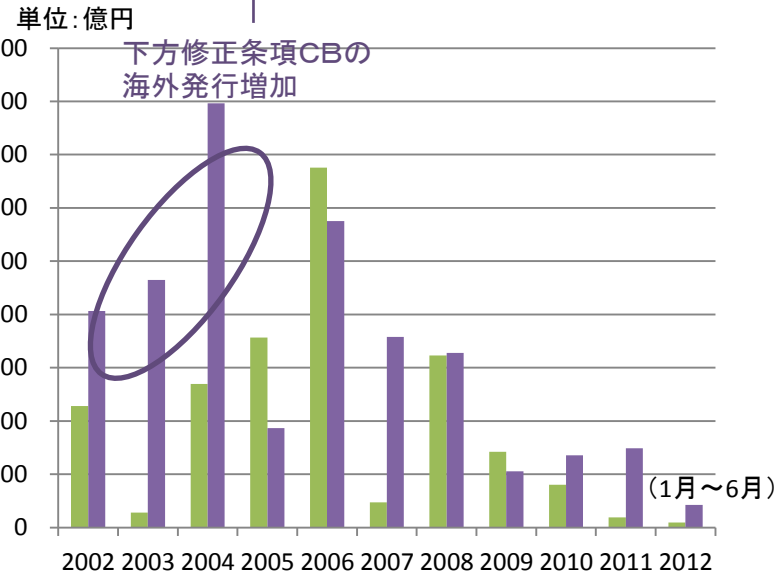
調達額の推移
(2002年～2012年6月まで)



※グラフは、東証の統計資料から弊社が作成

増資インサイダー問題の対象時期

↓
少数の引受会社で大量の増資株を引受る為に発生したか？



CB発行減少要因

- ・国内公募は、格付けが必要
- ・会計処理上、転換権(新株予約権)を費用計上するかどうか(IFRS対応なら必要)
- ・国内CB市場が2000代半に大幅に縮小
- ・第三者割当では、有利発行に配慮

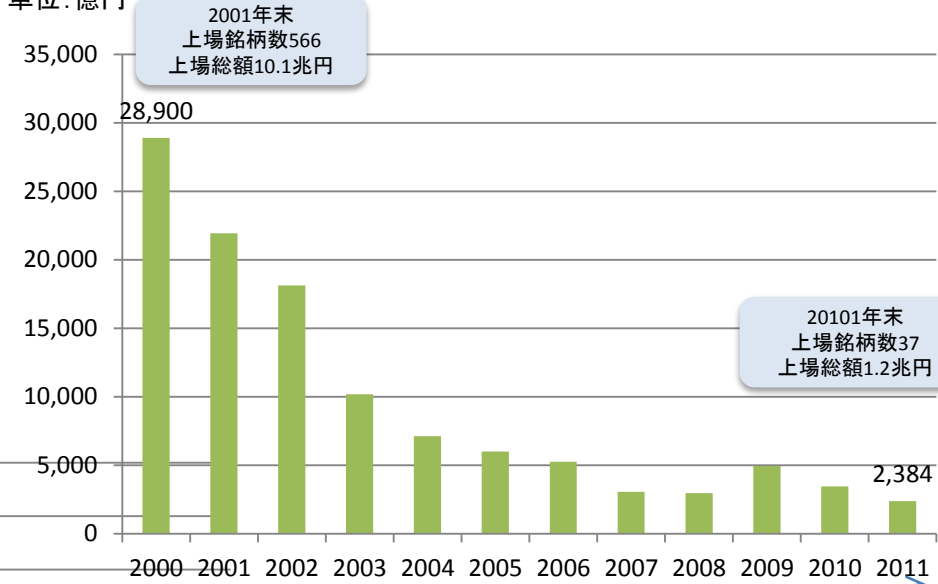
CBは歴史的な役割を終えたのか？

株主のメリット

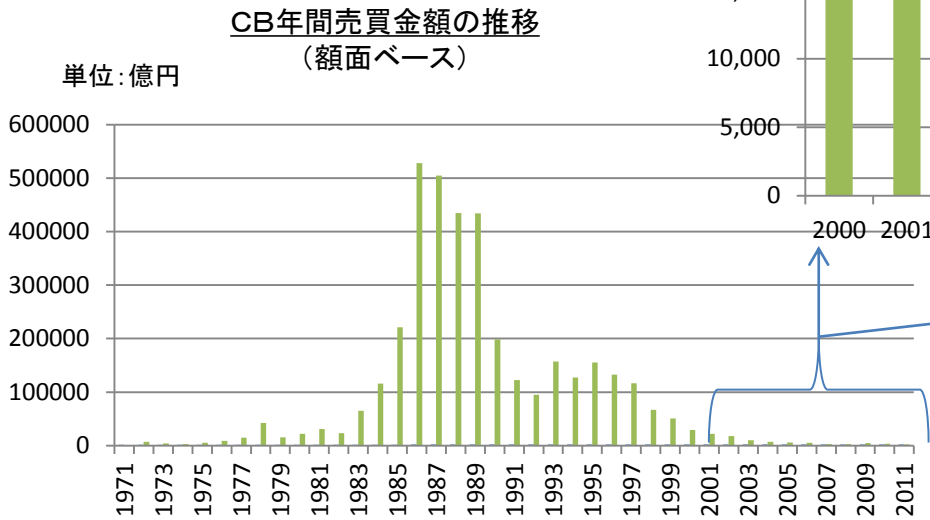
発行時の時価以上で、新株を発行できる

公募増資と異なり、流通市場に直接新株が供給されない

単位：億円



単位：億円



CB年間売買金額の推移 (額面ベース)

発行者のメリット

本来は、調達コストを低く抑えることが可能だが、...

発行者のデメリット

格付取得や、発行後の会計処理等手間がかかる

CB市場再拡大の為の課題

発行者と投資家の双方のニーズにあった多様な商品設計が可能だが、..

